

## ITU-T SG5 会合(10/12-16) WP1, 2 提出寄書

資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q3-寄概-NTT (1)	IMT-2000 無線基地局からの放射電界強度時間変動
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q15-寄概-NTT (1)	電磁波セキュリティ規格の適用ガイド 基本勧告 草案 (改定版)
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q15-寄概-NTT (2)	国際会議 EMC'09 Kyoto および CIGRE ワーキンググループ会合の結果報告
資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q15-寄概-NTT (3)	IEMI に関連した国際会議に関する情報

資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q3-寄概-NTT (1)

(情報通信技術分科会 ITU-T 部会 委員会 様式 4)

ITU-T 会合への提出寄書概要

(会合名: ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: NTT DOCOMO, NICT

寄 書 名	原 題	Time variation of electromagnetic field strength radiated from IMT-2000 base station antenna		
	和 訳	IMT-2000 無線基地局からの放射電界強度時間変動		
開催期間		2009年 10月 12日～ 10月 16日	開催地	スイス、ジュネーブ
課題番号	課題名	無線システム及び移動体による電磁界の人体ばく露		
3				
<p>提出寄書の意図・目的: <input checked="" type="checkbox"/> A:問題提起のための寄書 <input type="checkbox"/> B:新規勧告草案提示の寄書  <input type="checkbox"/> C:既存勧告案に対する審議進捗のための寄書</p> <p>人体ばく露の適合評価は、安全側の評価を与えつつ簡便な手法であることが望まれる。熱作用を考慮した電波防護指針値では時間平均値(6分間)に適用され、基地局を対象とした電波強度は、長い時間平均を行えば正確な曝露表評価が可能であるが、大きな稼働を必要とする。前回会合で韓国は、6分間よりも短い平均時間でも、強度変動が少ないので正確な評価が可能としている。この状況を支持するものとして、我が国の IMT-2000 携帯電話基地局周辺電波強度の測定結果を紹介し、ほとんどのケースで長時間の時間平均測定は不要であり、短時間で簡便な評価が可能であることを示す。</p>				
<p>寄書の内容:</p> <p>IMT-2000 基地局アンテナからの電波に関する人体ばく露適合評価は、短い時間平均でも可能である。W-CDMA 方式の IMT-2000 基地局からの電波強度の変動は、4日間で 10dB 以内の変動である。一方、その強度は、ICNIRP 基準値の 1/10000 以下と小さい。このため、測定さいれた電波強度に 10dB を加えて人体曝露適合評価を行えば、長時間の時間平均処理は、不要である。</p>				
<p>勧告に対する外国の状況:</p> <p>発展途上国からの支援要請を受けて、途上国でも運用可能な簡便な評価方法についての勧告案 K.guide の策定が進められている。前回会合において、欧州(ドイツ、ポーランド)だけでなく、中国、韓国、中南米、中東各国から寄書が提出されている。</p>				
<p>他の SG、他の期間との関連:</p> <p>ITU-R/SG6, IEC TC106</p>				

(注) 寄書原文を提出すること。

## 資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q15-寄概-NTT (1)

(情報通信技術分科会 ITU-T 部会 委員会 様式 4)

## ITU-T 会合への提出寄書概要

(会合名: ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元: NTT, NICT

寄 書 名	原 題	Revised draft text of Recommendation K. sec “Guide for the application of electromagnetic security requirements - Basic Recommendation”		
	和 訳	電磁波セキュリティ規格の適用ガイド 基本勧告 草案 (改定版)		
開催期間		2009年10月12日～10月16日	開催地	スイス、ジュネーブ
課題番号	課題名	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ		
15				
<p>提出寄書の意図・目的: <input type="checkbox"/> A:問題提起のための寄書 <input checked="" type="checkbox"/> B:新規勧告草案提示の寄書  <input type="checkbox"/> C:既存勧告案に対する審議進捗のための寄書</p> <p>本寄書は、意図的電磁波妨害が情報通信システム・装置に及ぼす影響や、情報通信システム・装置から電磁雑音を介して漏洩する情報等の電磁的セキュリティ脅威に関するガイドラインとなっている。本寄書を用いることにより、一般的なセキュリティマネジメントと同様の考え方に従い、対策の必要性の有無を検討することができる。</p>				
<p>寄書の内容:</p> <p>本寄書は、2008.2 会合で提案した K. sec の改定版であり、意図的電磁波妨害が情報通信システム・装置に及ぼす影響や情報通信システム・装置から電磁雑音を介して漏洩する情報等の電磁的セキュリティ脅威に対する個々の例を示している。これらの電磁的セキュリティ脅威に対する対策を必要と判断した場合、意図的電磁波妨害に関する勧告 (2008.11 に承認された K. 78 (K. hemp) および 2009.5 に AAP 手続きに入った K. 81 (K. hpem)) を参照する構成とする。</p>				
<p>勧告に対する外国の状況:</p> <p>特になし</p>				
<p>他の SG、他の期間との関連:</p> <p>IEC-SC77C, ITU-T/SG17, ITU-R</p>				

(注) 寄書原文を提出すること。

## 資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q15-寄概-NTT (2)

(情報通信技術分科会 ITU-T 部会 委員会 様式 4)

## ITU-T 会合への提出寄書概要

(会合名 : ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元 : NTT, NICT

寄書名	原題	Report of EMC' 09 Kyoto and CIGRE working group meeting in Kyoto, Japan		
	和訳	国際会議 EMC'09 Kyoto および CIGRE ワーキンググループ会合の結果報告		
開催期間		2009年10月12日～10月16日	開催地	スイス、ジュネーブ
課題番号	課題名	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ		
15				
<p>提出寄書の意図・目的 : <input type="checkbox"/> A:問題提起のための寄書 <input type="checkbox"/> B:新規勧告草案提示の寄書  <input checked="" type="checkbox"/> C:既存勧告案に対する審議進捗のための寄書</p> <p>本寄書は、本年7月に行なわれた国際会議 EMC' 09 Kyoto (7/20～7/24; 京都) および CIGRE ワーキンググループ会合 (7/24; 京都) に課題 15 のラポータが参加した結果を報告するものである。EMC 関連の国際学会の最新技術動向や、CIGRE での標準化の検討の状況を紹介し、現在行なわれている勧告審議の参考とすることが目的である。</p>				
<p>寄書の内容 :</p> <p>本寄書では、国際会議 EMC' 09 Kyoto および CIGRE ワーキンググループ会合の概要を紹介している。</p> <p>EMC' 09 Kyoto においては、課題 15 に関連するものとして、意図的な強力電磁波攻撃 (IEMI) および電磁的情報漏洩 (テンペスト、サイドチャネル攻撃) に関する Organized Session が設けられた。IEMI Session ではラポータにより SG5 課題 15 での標準化の取り組み状況が報告された。</p> <p>CIGRE ワーキンググループ (C4.206) の会合では、電力送電設備において、特に付随する制御ネットワークやセンサシステムに対する IEMI の影響と、その対策について審議し、標準規格化を行う予定である。今回の会合がキックオフであり、主に変電設備の制御ネットワーク等の現状把握を行った。</p>				
<p>勧告に対する外国の状況 :</p> <p>特になし</p>				
<p>他の SG、他の期間との関連 :</p> <p>CIGRE WG C4, IEC-SC77C,</p>				

(注) 寄書原文を提出すること。

## 資料 2-伝-2-SG5-WP2-Q15-寄概-NTT (3)

(情報通信技術分科会 ITU-T 部会 委員会 様式 4)

## ITU-T 会合への提出寄書概要

(会合名 : ITU-T SG5 第3回全体会合)

提出元 : NTT, NICT

寄 書 名	原 題	Announcement on following international conferences concerning IEMI.		
	和 訳	IEMI に関連した国際会議に関する情報		
開催期間		2009 年 10 月 12 日～ 10 月 16 日	開催地	スイス、ジュネーブ
課題番号	課題名	電磁環境に関する情報通信装置のセキュリティ		
15				
<p>提出寄書の意図・目的 : <input type="checkbox"/> A:問題提起のための寄書 <input type="checkbox"/> B:新規勧告草案提示の寄書  <input checked="" type="checkbox"/> C:既存勧告案に対する審議進捗のための寄書</p> <p>本寄書は、本年度から来年度初頭にかけて行なわれる IEMI に関する 3 件の国際会議の概要および論文の募集要項について情報提供するものである。内 1 件の国際会議では課題 15 のレポートが SG5 での標準化動向を含め IEMI に関する招待講演を行なう。これらの情報提供により、国際的な最新技術動向を把握し、今後の勧告審議の参考とすることが目的である。</p>				
<p>寄書の内容 :</p> <p>本寄書では、以下の 3 件の国際会議の概要や、IEMI に関する Special Session の情報、および論文の募集要項について紹介している。韓国での国際会議では課題 15 のレポートが招待講演を行い、SG5 での IEMI に関連した標準化動向を紹介する予定である。また、中国、カナダでの国際会議では、共に IEMI に関連した Special Session が設けられており、共に Organizer となっている Dr William Radasky からの投稿論文の募集の呼びかけと投稿要項を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 2009 Workshop on Electromagnetic Security (Dec. 3, 2009; Seoul, Korea)</li> <li>- 2010 Asia-Pacific Symposium and Exhibition on EMC (April 12-16, 2010; Beijing, China)</li> <li>- American Electro-Magnetics Conference (AMEREM) (July 5-9, 2010; Ottawa, Canada)</li> </ul>				
<p>勧告に対する外国の状況 :</p> <p>特になし</p>				
<p>他の SG、他の期間との関連 :</p> <p>CIGRE WG C4, IEC-SC77C,</p>				

(注) 寄書原文を提出すること。